



▲「人権」特集コーナーは、町図書館受付カウンター前に設置しています

■人権について考えるきっかけに
12月4日(木)～10日(水)までの「甲佐町人権週間」に合わせて、町図書館では「人権」特集コーナーを作り紹介しています。
一般書は、部落差別(同和問題)をはじめ、女性・子ども・高齢者への差別や偏見、ハラスメントなどのさまざまな人権課題についての啓発

町生涯学習センター・図書館

☎ 096-234-2447 (内線331)

■開館時間 午前9時～午後5時

■休館日 毎週火曜
年末年始

■貸出冊数 1人5冊まで

■貸出期間 15日間



本。児童書は、人権や憲法についてマンガやイラストで解説している本などを紹介しています。この機会に身近にある人権問題に気付き、お互いの人権を尊重し合うことの大切さを考えるきっかけにしませんか。

■0歳児からのおはなし会について
図書館では、毎月第2木曜日に「0歳児からのおはなし会」を行っています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、手遊びうたなど楽しい内容です。子育て中の保護者の皆さん、おじいちゃん、おばあちゃんも子どもたちとお気軽にご参加ください。

●日時
12月11日(木) 午前10時30分～

●会場
おはなしのへや(町生涯学習センター図書館室内)

新着図書紹介

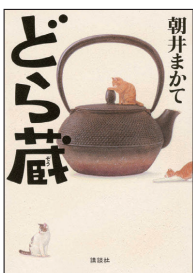
一般書



イン・ザ・メガチャーチ
朝井リョウ 著/日経 BP 日本経済新聞出版
「神がないこの国で人を操るには、“物語”を使うのが一番いいんですよ」…ファンダム経済を築く者、のめり込む者、のめり込んでいた者…。三者三様の視点から、“物語”の功罪を炙り出す。読み応えのあるおすすめの本1冊です。



いただきます。人生が変わる「守衛室の師匠」の教え
喜多川泰 著/ディスカバー・トゥエンティワン
楽に稼げると聞いて警備員のバイトを始めた19歳の翔馬。大学の守衛室で一緒に働く3人の過去を知り、世界の見方が変わっていく。仕事とは何か、人生とは何か、生命のつながりとは…。日常の中の大切な事実気付かされる1冊です。



どら蔵
朝井 まかて 著/講談社
天保の世。大坂にいられなくなった道具商の放蕩息子「どら蔵」こと寅蔵は、江戸の骨董商の世界へ。お宝を巡って時に騙され、時に勝負をかけ、ときどき情に流され…。魅力的なお宝と魅力的な登場人物たちに引き込まれる時代小説です。

児童書



クリスマスのくつした
エリナー・ファーজন 詩 石津ひびる 訳 ばかりかみこ 絵/のら書店
暖炉のうえで時計がチクタクになっている。クリスマスのくつしたに今夜なにが届くと思う？イギリスの児童文学作家エリナー・ファージョンによる幸せに満ちた詩を、あたたかな日本語訳と、やわらかな光あふれる美しい絵で届けます。



ずっと工事中！沢田マンション
青山邦彦 著 加賀谷哲朗 監修/学芸出版社
田んぼや釣りぼり池、迷路のような階段、屋上クレーン。なんでも手づくりする夫婦が、巨大マンションをつくった！変わり続けるマンションの建設と改造の様子を描く、ウソのようなホントの話。子どもも大人も楽しめる絵本です。



ふしぎ駄菓子屋銭天堂 吉凶通り4
廣嶋 玲子 作/ jyajya 絵/偕成社
健次郎は妻と娘の3人で、さびれた通りにある一軒の定食屋に入る。そのかべには変わった名前のメニューがびっしりと書かれていて…。「冒険バーガーセット」をはじめ「紅子のランチ」など全7編を収録。大人気シリーズ最新刊です。

■お問い合わせ先

町教育委員会公民館事務局

☎096-234-2447 (内線321)

町生涯学習センター・ギャラリーモール展示のお知らせ

●甲佐町人権週間啓発作品展示
町内の児童・生徒等が作成した人権啓発
作品を展示します。

▶期間 12月8日(月)～12月15日(月)



▲昨年度の作品展示の様子

町公民館では、町民の皆さんの教養の向上や、健康の増進を目的に公民館自主講座を開設しています。

講座は、全26講座が開設されており、手工芸教室・料理・文化・教養・音楽・スポーツ・健康とさまざまな分野の講座が実施されています。

今年4月には、町生涯学習センター・ホールおよびギャラリーモールで日頃の練習の成果を披露する「甲佐町公民館自主講座学習発表会」が開催されました。

随時、自主講座の受講生も募集していますので、お気軽に町教育委員会公民館事務局(町社会教育課内)にお尋ねください。講座名・日時・内容については、町公式サイトに「公民館自主講座一覧」を掲載していますので、ぜひご覧ください。

なお、講座の受講申し込みや受講料、教材費等については、各講座の講師へお尋ねください。

町公民館自主講座 公民館自主講座の受講生を募集しています



▲今年4月に開催された自主講座学習発表会のステージ発表で行われたレクリエーションダンス

地元特別報告では、部落解放同盟熊本県連合会荒尾支部書記長の坂田孝志さんが『自分の話』と題し講演。子どものころの今でも心に残っているエピソードなどから、同和教育に対してマインドな考えだった坂田さんが「解放運動をとおして自分を取り戻していった、自分自身が以前に比べ優しくなっただと思う。今後は明るく楽しい人権学

習を広めていきたい」と話されました。分科会の「人権確立をめざす教育の創造」では龍野小の田中大智先生が「ずっとみんなと一緒にいたいと思っています。」と題し、レポート報告。先生自身と父親の関係を教材化した「ずっと言えなかったこと」の人権学習で、子どもたちも「ずっと言えなかった」自分の想いを相手に伝えることができ、相手の気持ちをしっかりと受け止めることができるクラスへと変わっていきます。「これからも自分自身をしっかりと見つめ、子どもたちと共に成長し続けていきたい」と話されました。

第53回熊本県人権教育研究大会
10月18日(土)・19日(日)、「第53回熊本県人権教育研究大会」が荒尾総合文化センターおよび荒尾玉名地区18の分科会会場で開催され、県内の教職員・行政職員などが参加しました。

人権 ～心豊かに暮らすために～ 夢や希望を実現できる人権・同和教育を



▲第53回県人教大会の開会式の様子